



平成 30 年 7 月 13 日

各 位

会 社 名 プレジジョン・システム・サイエンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二  
(コード番号：7707 東証マザーズ)  
問合せ先 管 理 部 長 田中 英樹  
(TEL 047-303-4800 http://www.pss.co.jp)

### **PSS、全自動遺伝子検査装置「geneLEAD VIII」の発売に関するお知らせ**

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社(以下、PSS)は、PSSが開発した小型の全自動遺伝子検査装置(リアルタイムPCR検査装置)、geneLEAD VIIIの販売を開始する予定です。

geneLEAD VIIIは中型の全自動遺伝子検査装置 geneLEAD XII plus に続く geneLEAD シリーズ製品です。本製品の特長は小型でプレパック方式の試薬セッティングとボタン操作により約 90 分で核酸抽出からリアルタイム PCR 解析までが可能なる点(反応時間は PCR 試薬により異なります)にあります。

従来、遺伝子検査が実施できなかった中小規模の病院でも遺伝子検査が可能になるだけでなく、PSSの核酸抽出試薬「MagDEA Dx SV」と新たに開発したPCR試薬との組み合わせで様々な検体種に対応し、PSSのオリジナル自動化測定技術(8検体同時に異なるPCRサイクルを実施、6色マルチプレックス蛍光検出等)によりコスト、精度を含め極めて競争力の高い遺伝子検査の実現が期待できる全自動化装置となっています。

当初は、欧州規格CE-IVDに対応をしたPCR試薬を随時製品化し、フランス・ポルトガル・スペイン・ベネルクス(ベルギー、オランダ、ルクセンブルク)での販売を行う予定となっています。(2018年9月、2019年3月に発売予定のPCR試薬リストは別添参照)

開発を担当した池田専務取締役は、「geneLEAD VIIIは、遺伝子の自動抽出とPCR測定システムが統合された革新的な全自動遺伝子検査システムです。これらのプレパック方式の試薬は、geneLEAD VIII用に最適化され、臨床検査の現場において、簡便、迅速かつ正確な臨床検査結果を提供できるものと考えています。」と説明しています。

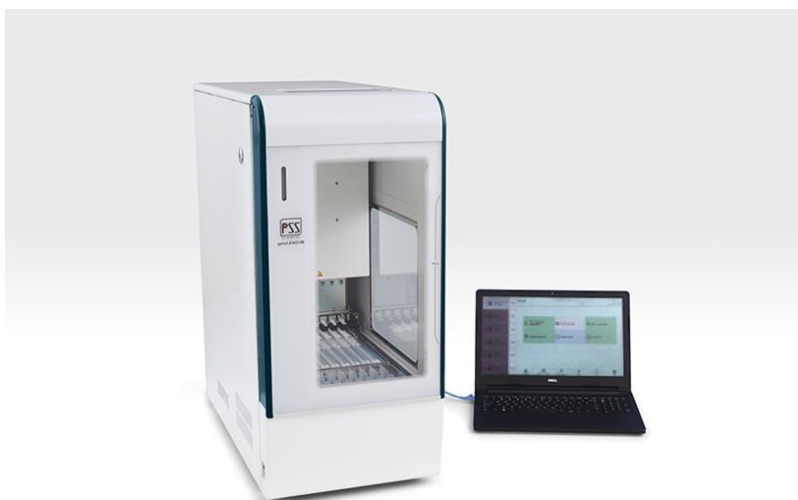
田島社長からは、「ヨーロッパからスタートし、アジア、ワールドワイドに事業拡大して行く方針です。そのためには、臨床検査項目の品揃えと各国との臨床規格準拠が重要です。geneLEAD VIIIは、そのいずれにも適合し易い技術、方法で将来の遺伝子検査の概念を変えていく可能性を持っています。バクテリア、ウイルス、感染症、ガン遺伝子変異、体質測定等の分野での活用をすすめていきます。」とのコメントを発表しました。

ご参考:PSS ウェブサイト製品紹介

<http://www.pss.co.jp/product/genelead/lead8.html>

以上

(別添)  
全自動遺伝子検査装置「geneLEAD VIII」



最大6台の geneLEAD VIIIをPC1台の制御でデータ解析が可能



製品仕様

製品名	geneLEAD VIII
装置形状	ベンチトップ型
寸法	約 W350×D700×H770mm
装置重量	約 80kg
検体架設数	1-8 検体/バッチ
温度制御機能	PCR ユニット 40~99℃ (8チャンネル独立制御) 抽出ユニット 65~80℃
抽出サンプル液量	200μL
PCR 反応液量	20~50μL
検出系	6色蛍光検出

2018年9月発売予定PCR試薬

Mycobacterium tuberculosis complex	結核菌群
Influenza A/B + RSV	インフルエンザ A/B + RSV
Legionella species and pneumophila	レジオネラ菌
Adenovirus	アデノウイルス

2019年3月発売予定PCR試薬

Bordetella	百日咳
Norovirus I/II + Rotavirus	ノロ・ロタウイルス
Mycoplasma pneumoniae	マイコプラズマ